

健康経営

実践企業に学ぶ

7

原料と製法にこだわった「冷凍お好み焼」の製造・販売を行うSD食品は、社員一丸となつて2018年から健康経営を推進し、22年から25年まで、4年連続で健康経営優良法人の認定を受けている。

健康経営を始めるきっかけは、健康診断で指摘があったにもかかわらず放置した結果、がんで亡くなってしまった従業員がいたこと。「健康でなければ良い仕事はできない。やりたくてもできない」と考えた広川社



広川享徳社長

SD食品



来年開設予定のSD食品新工場のCGパース(SD食品提供)

良い仕事は健康から

長は、病院から健診車を貸し切り、まずは健康診断の100%

開設予定の新工場には、重労働を極力軽減する設備や快適な室

受診を目指した。現在は、産業医の力も借りて、健康診断で指摘のあった従業員への手紙や面談の実施、がんのスクリーニング検査や心筋梗塞の検査、オプシオンなども随時追加している。費用は会社が一部負担するほか、がん保険を会社負担で契約。重症化しそうな精密検査の費用は会社負担という制度も考えているという。

内環境を保てる機械を導入、キッチンやマッサージ機のある休憩所も設置するという。会社の熱心な取り組みに従業員の健康意識も高まり「会社に守られていい」と好意的な意見も増えた。10代から70代までの従業員が仲良く円滑に働き、安心して安全なおいしい製品を届けている。

「これからも長く働けることによる生産性向上を目指し、会社と従業員双方の健康経営に寄与し、成長していきたい」と広川社長は意気込む。

(毎月第4金曜日掲載)

会社概要

- 所在地／広陵町大塚375の1
- 電話／0745 (55) 2299
- 創業／1989年4月
- 事業内容／冷凍お好み焼製造(業務用・家庭用)、チルドお好み焼キット製造